

は じ め に

当館は盛岡市内の南西部にある緑豊かな市中央公園の一角に位置しております。広大な公園の中には、当館のほかに岩手県立美術館、盛岡市先人記念館、盛岡市子ども科学館の博物館施設が建ち、公園の近隣にある原敬記念館を加え、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる5施設が集中する全国的にも注目されるミュージアムゾーンが形成されております。19年度には、これらの博物館施設に古代の官衙遺跡を復元整備した志波城古代公園を含めた6施設が連携して組織した「盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク（略称 もりとぴあねっと）」が立ち上がりました。これらの博物館施設が位置する盛南地区は、盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）が進行中の地域で、日々街の様子が変わっています。こうした状況を踏まえて「もりとぴあねっと」では『まち～まちをつくる・まちができる』をテーマに共同企画を開催し、各館ではそれぞれの施設の持ち味を生かした企画が展開されました。当館においては盛南開発事業におけるこれまでの発掘調査を振り返りながら、第6回企画展「まちづくりと考古学～盛南開発と遺跡発掘調査～」を開催いたしました。またこの企画展に関連して開催したフォーラムでは史跡等の保存と活用、そしてまちづくりへの活かし方などについての講演や今後の遺跡の活用のあり方について、多くの市民の皆様方と一緒に考えていくディスカッションの場を設けました。当館の重要な柱であります発掘調査を、まちづくりの観点から考えていくうえで貴重な示唆をいただき、大変意義深いものでありました。

さて、19年度も盛南開発事業以外にも、さまざまな要因による発掘調査（本調査）をあわせて24件実施しております。本書に掲載しております調査の詳細については、大半がそれぞれの本報告書において紹介しておりますので、ご参照いただければ幸いです。また、公開・活用を担っております学芸事業におきましても、先に紹介いたしました企画展のほかに、多様な事業を展開いたしました。おかげさまで、19年度の総利用者総数は、16年の開館年の利用者数を初めて超えており、さらに20年度は年度ごとの入りとしては、過去最高を記録しております。これからも多くの皆様方をお迎えできるよう内容の充実を目指して職員一同励んでいきたいと存じます。今後とも関係各位のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 武 藤 英 富